



太鼓連で子どもたちに
和太鼓を教える前田さん

プロフィール

日本福祉大学付属高等学校在学中に、全国大会35年連続出場(2025年現在)を誇る強豪の和太鼓部「楽鼓(らっこ)」に所属し全国1位に輝く。2025年8月に開催された「第27回につぼんど真ん中祭り」では「kagura」の太鼓奏者として最高峰の「どまつり大賞」を受賞。現在は、地域住民で組織する太鼓チーム「石浜中自治会太鼓連」の指導者として活動をする。

身体を震わせるほどの
迫力ある音、静寂から生ま
れる張り詰めた空気感――。
音の強弱、演奏者の表情
や動きによって様々な感情
を表現する和太鼓の演奏。
「動きで魅せたり、心臓
に響く音で相手の心に直
接訴えかけられるところ
が和太鼓の魅力です」と
前田さんは語る。和太鼓
との出会いは小学1年生
の夏。石浜地区の盆踊り

で、和太鼓に触れた楽し
さがきっかけとなり、小
学3年生で石浜中自治会
太鼓連に加入した。夏に
なると盆踊りに向けて練
習に励み、和太鼓に親し
んだ。
本格的に和太鼓と向き
合うようになったのは高
校時代。オープンキャン
パスで見た先輩たちの演
奏に圧倒され、日本福祉
大学付属高等学校の和太

鼓部「楽鼓」への入部を決
意した。
「高校の3年間は、部活
漬けの日々でした。週5
〜6日の練習に励み、時
にはチームで演奏する難
しさに直面したことも
あった。「目で見て合わせ
るのは簡単ですが、後ろ
にいる人の動きが見えな
い状態で音や動きを揃え
ることが難しいんです。」
自宅などの音が出せない
環境では部活中の動画を
見返し、全身鏡で手の角
度や動きを確認する地道
な自主練を積み重ねた。
その努力が実を結び、70
人を越える部員で競う部
内オーディションを勝ち
抜き、2年生から全国大
会に出場。見事全国1位
に輝いた。「本気で打ち
込むからこそぶつかるこ
ともありましたが、チー
ムで一丸となって取り組
んだ結果、全国1位にな
れたことが一番嬉しかっ
たです」と全力で向き
合った当時を振り返った。

現在は「地元で恩返し
をしたい」と、太鼓連では
園児から大学生まで幅広
い年代に対して、盆踊り
での演奏に向けた指導を
行っている。子どもたち
が希望した曲に合わせて
和太鼓のリズムを創作し、
その曲を指導するなど、
意欲的に活動をしている。
また、保育園での演奏
や体験会を行うなど「地
元愛は強いです」と地域
での活動を語る。「子ど
もたちがキラキラした目
を向けてくれて、楽しそ
うに和太鼓に触れてくれ
る姿が嬉しい」。体験会を
きっかけに太鼓連に加入
した子どももおおり、活動
の広がりを実感している
という。
「高校ではやり切った
けど、和太鼓が好きなき
持ちは変わらない。だか
ら今でも和太鼓に触れて
いたいし、いろんな人に
和太鼓の魅力を広めてい
きたいと思っています。」



和太鼓

まえだ ひかる
前田 晃さん

